平成26年９月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年５月１日

上場会社名　　アクセルマーク株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3624　　ＵＲＬ　http://www.axelmark.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）尾下　順治
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経理財務本部長　（氏名）野口　仁　　ＴＥＬ　03-5354-3351

四半期報告書提出予定日　平成26年５月15日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年９月期第２四半期の連結業績（平成25年10月１日～平成26年３月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年９月期第２四半期	1,710	△0.9	67	－	65	－	46	－
25年９月期第２四半期	1,725	△9.6	△7	－	△7	－	△15	－

（注）包括利益　26年９月期第２四半期　46百万円（－%）　25年９月期第２四半期　△15百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年９月期第２四半期	10.58	10.36
25年９月期第２四半期	△3.46	－

（注）当社は、平成25年４月１日付にて普通株式１株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年９月期第２四半期	2,006	1,610	80.3
25年９月期	1,957	1,564	79.9

（参考）自己資本　26年９月期第２四半期　1,610百万円　25年９月期　1,564百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00
26年９月期	－	0.00			
26年９月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年９月期の連結業績予想（平成25年10月１日～平成26年９月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第３四半期（累計）	2,512	△2.4	52	155.9	48	55.1	22	2.9	5.03

通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信（添付資料）3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年９月期２Ｑ	4,370,900株	25年９月期	4,370,900株
②　期末自己株式数	26年９月期２Ｑ	33株	25年９月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年９月期２Ｑ	4,370,890株	25年９月期２Ｑ	4,370,900株

(注)当社は、平成25年４月１日付にて普通株式１株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続の実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境としては、日本国内におけるスマートフォン端末が普及拡大し続けており、MM総研の調査によると平成25年12月末におけるスマートフォン契約数は5,328万件で携帯電話契約数の44.5%（平成25年９月末時点から2.3%上昇）となっております。さらに、米IDC社の調査によると、2013年の全世界におけるスマートフォンの出荷台数が前年実績から38.4%増加し10億台を超え、今後も引き続き増加していくことが見込まれ、端末の普及を背景に、スマートフォンアプリ市場も拡大を続けております。

このような市場環境の下、モバイルゲーム事業においては、人気ゲームタイトルを新たなプラットフォームへ展開し、より多くのユーザーへ楽しんで頂けるよう取り組むとともに、１周年記念イベントの開催やボイス付きカードなどの新機能の追加により、長く楽しんで頂ける取り組みを実施することで収益確保に努めてまいりました。広告事業ならびにコンテンツ事業においては、フィーチャーフォン向け売上が引き続き減少する中、スマートフォン向けサービスの売上拡大に注力いたしました。

利益面については、売上拡大に必要な新規ゲームタイトルの開発を拡大するため、人員の配置転換と採用活動による先行投資の増大が利益を押し下げる一方、サービス運営及び開発の効率化と高度化を推進したことにより、営業黒字を確保することが出来ました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高1,710,890千円（前年同期比0.9%減）、営業利益は67,907千円（前年同期は7,800千円の営業損失）、経常利益は65,558千円（前年同期は7,107千円の経常損失）、四半期純利益は46,247千円（前年同期は15,120千円の四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は次の通りであります。

（モバイルゲーム事業）

モバイルゲーム事業につきましては、「Mobage（モバゲー）」などにおいて提供しているブラウザゲーム「キングダムクロニクル」や「天空のレギオン」など既存タイトルにおいて、ユーザーからの根強い人気が継続、記念イベントや新機能の追加などにより売上は安定的に推移しております。さらに、当第２四半期連結累計期間においては、人気タイトルのマルチプラットフォーム展開を行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高は952,996千円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益は133,148千円（前年同期比618.1%増）となりました。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン向け電子書籍コンテンツ「コミックmini」の販売促進を引き続き行ってまいりました。その一方、フィーチャーフォン向け売上については引き続き減少しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は274,040千円（前年同期比32.5%減）、セグメント利益は17,240千円（前年同期比67.1%減）となりました。

（広告事業）

広告事業につきましては、フィーチャーフォン向け広告売上が減少する中、スマートフォン向けアドネットワーク「ADroute」の収益向上に注力してまいりました。「ADroute」は、クライアントからの出稿ニーズの高まりを背景に売上を拡大させてまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は486,254千円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益は33,090千円（前年同期比26.1%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金が39,816千円、のれんが56,757千円減少したものの、現金及び預金が155,446千円増加したこと等により前期末に比べて48,636千円増加し、2,006,166千円となりました。

負債については、短期借入金の返済9,250千円、賞与引当金が5,326千円減少したものの、買掛金が9,863千円、未払法人税等が11,144千円増加したこと等により前期末に比べて2,413千円増加し、395,592千円となりました。

純資産については、四半期純利益46,247千円の計上により、前期末に比べて46,222千円増加し、1,610,573千円となりました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

当第２四半期連結会計期間末における「現金及び現金同等物」（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて350,553千円減少し、当第２四半期連結会計期間末の資金残高は517,702千円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な内訳は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、166,344千円の獲得（前年同期は100,441千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益65,558千円の計上及び売上債権の減少39,816千円並びにのれん償却及び減価償却費等の計上60,140千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、507,623千円の使用（前年同期は9,638千円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入100,000千円があったものの、定期預金の預入による支出606,000千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,275千円の使用（前年同期は7,390千円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純減額9,250千円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

モバイルゲーム事業につきましては、既存のロングヒットタイトルにおいて、ユーザーに長く楽しんで頂けるためのゲーム内イベント等の施策を実施することで収益を維持し、第３四半期以降にリリースを予定している新規タイトルの開発投資を積極的に行い収益拡大を目指してまいります。

コンテンツ事業につきましては、引き続きスマートフォン向けサービスの拡大のため、新規サービスの開発を推進してまいります。

広告事業につきましては、スマートフォン向け広告サービスの収益拡大に注力してまいります。

平成26年９月期の業績予想につきましては、当社グループの事業を取り巻く環境が急速に変化しており、事業の成長速度を予測することが難しいことから、信頼性の高い通期の業績予想を算出することが困難なため、四半期毎に翌四半期の業績予想を公表させて頂きます。

平成26年９月期第３四半期連結累計期間業績予想（平成25年10月１日～平成26年６月30日）

売上高	2,512百万円
営業利益	52百万円
経常利益	48百万円
四半期純利益	22百万円

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成26年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	968,256	1,123,702
売掛金	497,586	457,770
仕掛品	3,803	10,821
貯蔵品	1,323	794
その他	34,995	20,666
貸倒引当金	△13,956	△12,871
流動資産合計	1,492,008	1,600,884
固定資産		
有形固定資産	23,987	22,145
無形固定資産		
のれん	371,555	314,798
その他	1,906	2,148
無形固定資産合計	373,462	316,946
投資その他の資産		
敷金及び保証金	68,071	66,189
その他	0	0
投資その他の資産合計	68,071	66,189
固定資産合計	465,520	405,281
資産合計	1,957,529	2,006,166
負債の部		
流動負債		
買掛金	210,702	220,566
短期借入金	9,250	－
未払法人税等	10,021	21,166
賞与引当金	35,511	30,184
ポイント引当金	12,228	11,923
その他	114,831	111,752
流動負債合計	392,546	395,592
固定負債		
その他	632	－
固定負債合計	632	－
負債合計	393,178	395,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,116,770	1,116,770
利益剰余金	△116,518	△70,270
自己株式	－	△25
株主資本合計	1,564,152	1,610,374
新株予約権	198	198
純資産合計	1,564,351	1,610,573
負債純資産合計	1,957,529	2,006,166

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年10月１日 至　平成26年３月31日）
売上高	1,725,645	1,710,890
売上原価	1,043,530	1,027,757
売上総利益	682,114	683,132
販売費及び一般管理費	689,915	615,225
営業利益又は営業損失（△）	△7,800	67,907
営業外収益		
受取利息	80	179
還付加算金	－	98
事業譲渡益	1,428	－
その他	797	78
営業外収益合計	2,305	355
営業外費用		
支払利息	226	93
株式上場関連費用	1,355	1,584
解約違約金	－	964
その他	31	62
営業外費用合計	1,613	2,703
経常利益又は経常損失（△）	△7,107	65,558
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△7,107	65,558
法人税、住民税及び事業税	8,012	19,311
法人税等合計	8,012	19,311
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△15,120	46,247
少数株主利益	－	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△15,120	46,247

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年10月１日 至　平成26年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△15,120	46,247
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
四半期包括利益	△15,120	46,247
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,120	46,247
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成25年３月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年10月１日 至　平成26年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△7,107	65,558
減価償却費	5,060	3,383
のれん償却額	70,489	56,757
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△835	△1,085
賞与引当金の増減額（△は減少）	5,590	△5,326
ポイント引当金の増減額（△は減少）	3,981	△305
事務所移転費用引当金の増減額（△は減少）	△23,172	－
受取利息及び受取配当金	△80	△179
支払利息	226	93
売上債権の増減額（△は増加）	88,880	39,816
仕入債務の増減額（△は減少）	△21,371	9,863
前払費用の増減額（△は増加）	3	3,225
その他	△41,106	1,254
小計	80,557	173,055
利息及び配当金の受取額	80	179
利息の支払額	△239	△93
法人税等の支払額	△2,916	△6,797
法人税等の還付額	22,959	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,441	166,344
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△606,000
定期預金の払戻による収入	－	100,000
有形固定資産の取得による支出	△7,184	△883
無形固定資産の取得による支出	△1,000	△900
敷金の回収による収入	18,047	－
その他	△224	160
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,638	△507,623
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	29,750	△9,250
長期借入金の返済による支出	△37,329	－
新株予約権の発行による収入	189	－
自己株式の取得による支出	－	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,390	△9,275
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	102,690	△350,553
現金及び現金同等物の期首残高	729,242	868,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	831,933	517,702

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年10月１日　至　平成25年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	モバイルゲーム事業	コンテンツ事業	広告事業	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	898,927	406,202	420,515	1,725,645	－	1,725,645
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	20	20	△20	－
計	898,927	406,202	420,535	1,725,665	△20	1,725,645
セグメント利益又は損失（△）	18,541	52,372	44,799	115,713	△123,514	△7,800

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	115,713
のれんの償却額	△30,742
全社費用（注）	△92,772
四半期連結損益計算書の営業損失	△7,800

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年10月１日　至　平成26年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	モバイルゲーム事業（注）	コンテンツ事業	広告事業	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	952,996	274,040	483,853	1,710,890	－	1,710,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	2,400	2,400	△2,400	－
計	952,996	274,040	486,254	1,713,291	△2,400	1,710,890
セグメント利益	133,148	17,240	33,090	183,479	△115,572	67,907

（注）平成26年９月期第１四半期より、従来の「ソーシャルゲーム事業」から「モバイルゲーム事業」へとセグメント名称を変更しています。
なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	183,479
のれんの償却額	△30,259
全社費用（注）	△85,312
四半期連結損益計算書の営業利益	67,907

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。